

受賞おめでとうございます！



第23回米・食味
分析鑑定コンクール
国際大会

都道府県代表
お米選手権金賞
つる だ まさ ひみ
霍田匡史さん

結果が出るのは励みになります。コメを買ってくれるお客さんのために、選んでもらえるコメを作り続けたいです。

※霍田さんは「第5回九州のお米食味コンクールin 菊池」個人総合部門でも金賞を受賞



第23回米・食味
分析鑑定コンクール
国際大会

栽培別部門
環境王国金賞
まく なが こう さく
菊永光作さん

集落部門でも加恵区が連続受賞できました。天候や気温など作る条件が違う中でもおいしいコメができるよう努力していきたいです。

※菊永さんは「第9回菊池米食味コンクール」個人総合部門でも最優秀賞を受賞



第9回菊池米
食味コンクール

環境王国菊池
基準登録部門
お がわ とも ひで
小川智英さん

おいしいコメを作ろうと区の皆で研究した結果と思います。これからも家族や子どもにおいしいコメを食べさせられるよう頑張ります。

環境王国菊池農業生産基準登録者を募集中！

安全で安心な農産物を生産供給するための市独自の栽培基準「菊池基準」。環境に配慮した地域の確立と菊池ブランドの推進のため、菊池基準登録者を随時募集しています。対象者や登録に必要な書類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

ホームページはこちら→



安心安全な農産物へ

菊池基準では、化学肥料や化学合成農薬の使用頻度を元

農業生産基準（菊池基準）です。当時、食品偽装問題などで食に対する不安が大きくなる中、安全で安心して食べられる農産物の生産が重要になっていました。市では他地域と比較して環境に配慮した農家が多かったことから市独自の栽培基準作成に着手。「菊池ブランド」の価値を高め、農産物の消費拡大につなげようという取り組みが進められました。

市は平成27年に「環境王国」の認定称号も取得。NPO法人環境ルネッサンスが進めている取り組みで、地域住民が築き上げた優れた自然環境と農業のバランスが保たれ、安心できる農産物の生産に適した地域であることが認められ

ました。（認定市町村は令和3年現在で16市町村）。美しい自然と豊かな恵みを未来へつなぐために市農政課の田代誠士課長は「これからもさらなる食の安全が求められる。生産者には安心安全な農産物の生産に取り組んでもらい、自信を持って価格に反映させてほしい」と期待を寄せます。

菊池の農産物生産に関する安全・安心な基準宣言

環境王国菊池農業生産基準（菊池基準）は、基準1～7を設け、基準が上がるごとに、化学農薬や化学肥料の使用回数が低減されています。

基準レベル	化学肥料	化学(合成)農薬	総窒素量
菊池基準 7 JAS有機	不使用	不使用	
菊池基準 6 有作くん100(※1)	不使用	不使用	慣行レベルまで(※2)
菊池基準 5	不使用	不使用	
菊池基準 4	70%以上削減	70%削減	
菊池基準 3 有作くん(※1)	50%以上削減	50%削減	慣行レベルまで(※2)
菊池基準 2	50%以上削減	50%削減	
菊池基準 1	30%削減する技術を導入	1～3回削減する技術を導入	

※1 「くまもとグリーン農業」での認証名 ※2 通常の栽培で使われるレベル

第9回菊池米食味コンクール



1・3・5_食味審査 2_第9回菊池米食味コンクールの受賞者の皆さん 4_調印式 6_第5回九州のお米食味コンクールin 菊池の受賞者の皆さん 7_審査米は同じ条件で炊飯

第9回菊池米食味コンクール・第5回九州のお米食味コンクールin 菊池

菊池米のさらなるブランド化を目指して

「第9回菊池米食味コンクール」を昨年11月20日に菊池市ふるさと創生市民広場で開催。翌21日には同会場で「第5回九州のお米食味コンクールin 菊池」を開催しました。本市の生産者は11月27日に静岡県小山町で開催された国際大会にも参加し、最高評価の金賞を受賞しました。

【問い合わせ先】ブランド推進室 ☎0968(25)7266

本市の生産者が相次ぎ受賞

「第9回菊池米食味コンクール」毎年、取引条件適合者はその場でバイヤーと契約し、九州や都内の百貨店などで販売され、PRや販路拡大につながっています。今回は255点の出品があり、個人総合部門は菊永光作さん（加恵）の「にこまる」、環境王国菊池基準登録部門では小川智英さん（遊蛇口）の「にこまる」、集落部門では加恵区が最優秀賞に輝きました。

市独自の基準で価値向上、消費拡大を図る

食味コンクールと関連して進めてきたのが、平成26年10月に制度化した市独自の農産物の栽培基準「環境王国菊池